

授業科目	発達障害理学療法学	3 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	小塚直樹 (保健医療学研究棟 E415 号) e-mail : kozuka@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(西部寿人)		
概要	脳性麻痺、筋ジストロフィー、二分脊椎、ダウン症候群などの姿勢と運動の異常を示しながら発達する障害児に対する理学療法(評価と治療)を学習する。正常な運動発達を理解することにより、神経系障害に起因する運動障害と運動器系障害に起因する運動障害の違いを学習し、理論的背景のある小児理学療法を理解する。		
到達目標	1. 正常運動発達と異常運動発達を説明できる。 2. 脳性麻痺が示す障害の特異性を説明できる。 3. 脳性麻痺の評価と治療の体系を理解し、説明できる。 4. 筋ジストロフィー、二分脊椎、ダウン症候群に関する評価から治療を理解し、説明できる。		
関連科目	人間発達学1、人間発達学2、小児科学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	筆記試験	100%	
教科書	①田原弘幸・大城昌平・小塚直樹 [2018 年] 「小児理学療法テキスト改訂第3版」 南江堂		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	運動発達障害の理学療法における基本的な知識を学ぶ。それまで受講した該当講義の復習を充分に行って受講することが望ましい。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	授業ガイダンス 肢体不自由児総論・各論、脳性麻痺の概念	事前・事後：教科書、配付資料の該当箇所を抄読	講義	小塚
2	脳性麻痺とは…その臨床的特徴 運動発達(1) 運動発達指標～マイルストーン	事前・事後：教科書、配付資料の該当箇所を抄読	〃	〃
3	運動発達(2) 原始反射および姿勢反射・反応 脳性麻痺の評価(1) 評価総論	事前・事後：教科書、配付資料の該当箇所を抄読	〃	〃
4	脳性麻痺の評価(2) 姿勢・運動分析 痙直型 脳性麻痺の評価(3) 姿勢・運動分析 アテトーゼ型	事前・事後：教科書、配付資料の該当箇所を抄読	〃	〃
5	脳性麻痺の評価(4) 神経学的評価と筋骨格系評価 脳性麻痺の評価(5) 脳性麻痺の治療体系	事前・事後：教科書、配付資料の該当箇所を抄読	〃	〃
6	脳性麻痺の治療(1) 脳性麻痺の評価 GMFM、GMFCS、PEDI 脳性麻痺の治療(2) 装具療法と観血治療	事前・事後：教科書、配付資料の該当箇所を抄読	〃	(西部)
7	筋ジストロフィー症 その評価と治療 二分脊椎 その評価と治療	事前・事後：教科書、配付資料の該当箇所を抄読	〃	小塚
8	精神遅滞児と染色体異常(ダウン症候群) その評価と治療 重症心身障害児・者 その評価と治療	事前・事後：教科書、配付資料の該当箇所を抄読	〃	〃